

栄養教諭一種免許状

食物栄養学科では、2005年の栄養教諭免許創設に伴い課程認可を受け、本学の教員養成理念のもと教育に関する資質と栄養に関する専門性を併せ持つ栄養教諭（一種免許）の養成を行っている。

栄養教諭は、学校給食を生きた教材として活用した効果的な指導が期待されているため、「食に関する指導」と「学校給食の管理」を一体のものとした職務となる。

学校における食に関する指導としては、児童生徒への個別的な相談指導や各教科・特別活動等における教育指導があげられる。児童生徒の食生活の実態を把握し、栄養学等についての専門的知識を生かした指導が求められる。そのため、専門的知識や技能を身につけたきめ細かな指導が行えることを目標としている。

学校における食に関する指導を効果的に進めていくには、教職員、保護者、その他関係機関等の連携を密接に図ることが重要であり、栄養教諭は食に関する教育のコーディネーターとしての役割を果たすことが求められている。そこで、求められるコミュニケーション能力、多職種との連携・調整能力の育成を目標としている。